

茨城の公共・公益事業

歴史をたどり、後世に残す 県企業局長・企業公社理事長編②



水場が、8市町村土浦市、つくば市、守谷市、稲敷市、阿見町、利根町、河内町、美浦村)と茨城県南水道企業団(龍ヶ崎水道企業団(龍ヶ崎市、取手市、牛久市、取手市、龍ヶ崎市、立地する51社54事業所に工業用水を送って

今回は、県南水道事務所と水質管理センターについてお話をいただきます。2つの事務所は龍ヶ浦に面し、龍ヶ浦総合公園に隣接して併設されています。最寄駅は常磐線土浦駅で、国道125号が近くを走っており、非常に恵まれた立地となっております。私は同事務所を訪れた際は、ちょっとした暇を見つけて、大好きな龍ヶ浦を眺めながらウォーキングやストレッチを楽しんだりしていました。

龍ヶ浦 既存利用で新施設

県南水道事務所は昭和42年、龍ヶ浦水道事務所として発足しています。龍ヶ浦から取水している利根川浄

水場が、8市町村土浦市、つくば市、守谷市、稲敷市、阿見町、利根町、河内町、美浦村)と茨城県南水道企業団(龍ヶ崎水道企業団(龍ヶ崎市、取手市、牛久市、取手市、龍ヶ崎市、立地する51社54事業所に工業用水を送って



▲オゾンAOP施設。水質の改善が期待される

改築のための敷地も手狭だったので、安全に、また仕事をやりやすくなるために、隣接地を地主さんの了解を得て大幅に借り受けました。工事の完了時には返却するのではなく、すべて買取させていただきました。危機管理上でも、後々の増設のためにも必要だと判断したのです。

県南水道事務所と水質管理センターについて ~研究を重ねてよりおいしい水を~ 渡邊 一夫氏 × 高田 浩幸氏

元県企業局長

元県企業局危機管理対策監兼施設課長 (当時：企業局施設課施設管理グループ主査)



いばらきの公共事業を紐解く

水道、工業用水を安定給水

私は36年間勤務のうちの32年間、企業局で一貫して水道用水と工業用水の安定給水に関わってきました。茨城県は地下水が豊富なこと、人口集積度がそれほど高くなく、いかに水を供給するかが大きな課題でした。

水質が浅く、湖底まで光がよよく届くため年々藻類が増え、光合成に伴う夏場のpHも高めます。昭和47年には、当時珍しかった粒状活性炭吸着設備を鹿島浄水場に整備(龍ヶ浦はS50)するなど、高度浄水処理を全国に先駆けて設置して対応していました。

可能性があるのだから、公募に際して企業局も実験費用の一部を補助する仕組みとするようにと指示がありました。この時の粒状活性炭の再生費用は、給水原価の25%を超える水準に達していました。

高田 浩幸(たかた ひろゆき) 1962年12月9日生まれ。61歳。入社は87年、企業局鹿島水道事務所配属。その後企業局鹿行水道事務所長、施設課長、施設課長を経て、2023年3月に危機管理対策監兼施設課長で定年を迎えた。現在は一般社団法人日本工業用水協会の専務理事を務めている。

日本初の浄水処理フローとなることから、慎重に実証、検証を重ねなければならぬ。当然のことですが、実験開始から認可までは10年の歳月を要しました。さらに4年の整備期間を経て、令和6年度に日本初のオゾンAOP施設が稼働します。

産学官で 新手法でおいしい水を供給

企業局の11浄水場の浄水池、浄水池、送水ポンプ等については、既存のものを活用したまま、新しい施設を新設して切り替えることとしており、その新設工事に着手してあります。

細谷造園が寄附金300万円 “龍ヶ崎愛”第2の故郷に貢献

住みたいまちづくり事業へ活用



▲細谷社長(写真中央)が萩原龍ヶ崎市長(写真左)に目録を手渡した(右は大竹市議)

表取締役に感謝状が贈呈された。寄附金は、龍ヶ崎にいきなりを生まつ、住みたい、住みたいまちづくり事業へ活用していく予定。

細谷造園(生年市、細谷和之代表取締役)は、市役所で行われた寄附金活用式に出席し、龍ヶ崎市の発展に貢献することを誓った。

細谷代表取締役は「龍ヶ崎一高に通った3年間は私の人生の原点。龍ヶ崎にお世話になったおれに、お返しをさせていただいた。龍ヶ崎が昔の賑わいを取り戻し、さらに良くなっていきたい」とあいさつ。

このまちに 新たな施設誕生

境町

境町(橋本正裕町長)は、28日、ドローンラボ・ドローンフィールドの落成式を開催した。当日はテラカットや、敷地内でのドローントレーニングなどを行い、施設の完成を祝った。また、施設設計、施工を行った各社への感謝状贈呈も実施した。

世界でもトップクラスの施設が完成



境町(橋本正裕町長)は、28日、ドローンラボ・ドローンフィールドの落成式を開催した。当日はテラカットや、敷地内でのドローントレーニングなどを行い、施設の完成を祝った。また、施設設計、施工を行った各社への感謝状贈呈も実施した。

ドローンラボ・ドローンフィールド デジタル人材育成と開発

境町(橋本正裕町長)は、28日、ドローンラボ・ドローンフィールドの落成式を開催した。当日はテラカットや、敷地内でのドローントレーニングなどを行い、施設の完成を祝った。また、施設設計、施工を行った各社への感謝状贈呈も実施した。

その後はテラカットや記念撮影を実施し、屋外ドローンのデモンストラクションなども行った。参加者は新たな施設の完成を盛大に祝った。